

授業科目 スポーツ医学 II (内科)

【担当教員名】	対象学年	3・4	対象学科	スポ	
	開講時期	後期	必修選択	選択	
	単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	◎	
【概要・一般目標：GIO】 本講義では、主にアスリートに見られる内科的な諸問題についての理解を深め、かつそれらの問題への具体的な対処方法を実践的に学ぶことを目標とする。					
【学習目標・行動目標：SBO】 アスリートのパフォーマンス発揮の障害となる要素としては、外科的な問題はもちろんのこと、内科的な問題も看過することのできない非常に重要なものである。本講義では、それら内科的な問題のうち、(1)内臓器官などの疾患、(2)各種感染症に対する対応策、(3)アスリート特有の病的現象、(4)特殊環境下でのスポーツ医学的問題、(5)年齢・性差による特徴、(6)内科的メディカルチェック、(7)ドーピングコントロール、についての理解を深め、またこれらの問題に実践的に対応することのできる能力を修得することを学習目標とする。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	アスリートに見られる内臓器官等の疾患 (1) 循環器系、呼吸器系の疾患				
2	アスリートに見られる内臓器官等の疾患 (2) 消化器系、血液系の疾患				
3	アスリートに見られる内臓器官等の疾患 (3) 皮膚、腎・泌尿器系、代謝性疾患				
4	感染症に対する対応策 (1) 呼吸器系、血液感染症				
5	感染症に対する対応策 (2) 皮膚感染症、ウイルス性結膜炎など				
6	感染症に対する対応策 (3) 海外遠征時に注意すべき感染症、各競技別ルールに見られる感染症対策				
7	アスリート特有の病的現象 (1) オーバートレーニング症候群				
8	アスリート特有の病的現象 (2) スポーツ中の突然死				
9	アスリート特有の病的現象 (3) 過換気症候群、摂食障害、減量障害、飲酒・喫煙の運動に対する影響				
10	特殊環境下のスポーツ医学 一高所、低圧/高圧、暑熱/低温環境、時差など				
11	年齢・性差による内科的問題の特徴				
12	内科的メディカルチェック (1) その意義と必要性				
13	内科的メディカルチェック (2) その内容と実施方法				
14	ドーピングコントロール				
15	まとめ				
【使用図書】	<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他> 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト (4) 日本体育協会				
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 講義における質疑応答、レポート課題の発表と提出等により評価を行う。	【履修上の留意点】				